

研究課題番号	SⅡ-3
研究課題名	PCBを含む残留性有機汚染物質（POPs）の循環・廃棄過程の管理方策に関する統合的研究
研究実施期間	平成30年度～令和2年度
研究機関名	京都大学
研究代表者名	酒井 伸一

1. 委員の指摘及び提言概要

全体としてよくマネジメントされており、目標を超える成果を上げている。国際的にリードできる先進的な成果が得られている。サブテーマ間の連携も十分に行われている。テーマ1の分析技術は他のテーマに活用されていることなど複数のテーマ担当者の共著論文もあり、国際会議の開催やYoutubeなどを活用した公開イベントの開催など得られた成果情報を提供することに配慮されていることなど、課題全体としてまとまりのある成果を挙げたものと判断する。PCBについて取り組まれた成果が今後 DBDE や SCCPs、将来の POPs 候補物質についての化学物質管理にも応用できる可能性があり、極めて有意義な研究である。環境政策上重要なデータの収集、モデル構築等の知見が得られたと評価できる。

2. 採点結果

評価ランク：S